

2018年6月4日
京都ホテルオークラ



京都ホテルオークラ 創業 130 周年記念 歴史展示スタート

京都ホテルオークラ（本社：京都市中京区（株）京都ホテル、東証2部上場、代表取締役社長 福永法弘）は、2018年6月2日（土）～6月30日（土）の期間、創業130周年を記念した展示を2階回廊にて開催いたします。

期間中、創業期から現在に至るまでの歴史年表、創業当時のホテルの様子を描いた絵や写真などを展示。本年は明治150年にもあたることから、ホテルの歴史の中でも、明治時代をクローズアップした内容となっております。

京都ホテルオークラでは本年、創業130周年記念として、創業者・前田又吉ゆかりの絵巻の制作、前田又吉・伊藤博文の銅像建立などを実施してまいりました。これら常設展示品とあわせ、日本のホテル草創期より京都ホテルオークラが歩んできた歴史や時代背景、長州藩京屋敷跡にあたるホテルの土地の歴史を、多くのお客様に知っていただく機会にしたいと考えております。

◆概要

- 【名称】 京都ホテルオークラ 創業130周年記念
「ホテルの歴史展」
- 【期間】 2018年6月2日（土）～6月30日（土）
- 【会場】 京都ホテルオークラ 2階回廊 ※観覧自由（無料）
- 【協力】 川島織物文化館

【展示一例】

- ・ 明治時代から現在までの歴史年表
- ・ 木彫紋章「双頭之鷲」（川島織物文化館蔵） ※6月19日まで
- ・ 明治24年7月当時のホテルの絵（個人蔵）
- ・ 明治時代のホテル写真パネル

<関連>

- ・ 橋本閑雪筆「前田又吉回忌絵巻（複製）」展示／2階回廊
2018年4月1日（日）～ 常設
- ・ 前田又吉・伊藤博文 銅像／ホテル北側
2018年6月2日（土）～



木彫紋章「双頭之鷲」（川島織物文化館 蔵）
川島織物が「大津事件」の際のお見舞いの品を手がけた功績により、1893年（明治26年）ニコライ皇太子の御用達となり、ロマノフ王朝の御紋章「双頭之鷲」を工場玄関に掲げていました。「大津事件」当時、ニコライ皇太子は「常盤ホテル」（現在の京都ホテルオークラ）にご宿泊されておりました。

（参考）京都ホテルオークラについて

1888年（明治21年）、前田又吉が二条橋西詰に「京都常盤」を創業したのがはじまり。1890年（明治23年）には長州藩の京屋敷跡にあたる現在の場所に、京都ホテル（当時通称「常盤ホテル」）を開業。京都では最初期の本格的な洋式ホテルとして、ロシアのニコライ皇太子を皮切りに多くの賓客を迎えてきた。1994年（平成6年）、約3年の全面建替え工事を経て「京都ホテル」新装開業。2001年（平成13年）に株式会社ホテルオークラと業務提携し、翌年に「京都ホテル」の名称を「京都ホテルオークラ」と改称。2018年（平成30年）で創業130周年。

本件リリースに関するお問い合わせ先

京都ホテルオークラ 経営企画部 営業企画課 広報担当：松岡

〒604-8558 京都市中京区河原町御池 / TEL: 075-254-2524 ・ FAX: 075-211-5162 / m-matsuoka@kyotohotel.co.jp